

【第 4 号】

平成 27 年 9 月 25 日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎0246-53-7126

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。
「おなはまみなと通信」では、小名浜港を始めとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます。

おなはま海遊祭

第 14 回おなはま海遊祭が 7/25・26 日にアクアマリンパーク(1・2 号ふ頭)で行われました。当事務所は、26 日に「小名浜港 海の教室」として参加し、普段は一般の方が立ち入ることができない制限区域内の **3 号ふ頭**、**5・6 号ふ頭**、**大剣ふ頭** をバスツアーで案内しました！！



小名浜の歴史に触れてみよう！

小名浜港は、1747 年に江戸幕府の代官所が置かれ、磐城各藩の幕府納付米の積出港として基礎を築きました。
明治以降は、**常磐炭鉱**から産出する石炭を京浜方面へ輸送する基地の役割を担いました。昭和 39 年には、「常磐・郡山地区」新産業都市に指定され、国際貿易港としての港勢を拡大していきました。

ヒョクン
なるほど！



ツアーガイドを担当しました武藤主査です！

バスツアー楽しんでいただけましたか？私も皆さんと一緒にふ頭巡りができたので楽しかったです！ありがとうございました(〇)





応援職員(沖縄県) 金城さんの仕事場訪問

今回は、塩屋崎灯台近くにある豊間漁港の災害復旧現場です。防波堤の嵩上（かさあげ）が主な工事です。
担当は、沖縄県からの応援職員 金城哲男さんです。震災の復旧に少しでも関わりたいと、自ら希望し1年間の任期で来てくれています。



震災で沈下した部分を嵩上（かさあげ）しました。
豊間漁港の工事（赤丸の箇所）は、2年前の平成25年から開始して、今年の秋に完成します。

防波堤の役割

漁港に入ってくる波を、一旦防波堤に当てることで港内の波を落ち着かせます。

災害復旧工事のために造られた仮設道路です。復旧工事完了後は撤去され、砂浜に戻されます。

仮設道路に使用している砂や岩は、次の現場に運ばれ再利用されます。

仮設道路

沖縄県職員 金城 哲男さん

Q 沖縄ではどんな仕事をしていましたか？

A 漁港の設計、工事監督、管理業務をしていました。

Q 福島県と沖縄県の違いで驚いたことは？

A 面積は広いけど、離島がないことで県内は車や電車で移動できるので、非常に楽だと思います。

Q 復旧・復興の仕事に携わってみて、今後福島に期待することを教えてください。

A 漁港が復旧されても、漁ができなければどうしようもないので、1日も早く漁が再開されて漁港が活気づいてほしいです。

金城さんおすすめの沖縄名物



定番！
沖縄そば 青い海



沖縄の海の青さについて

沖縄の島々はサンゴ礁から出来ており、そのサンゴが砕かれたものが白い砂浜になります。そして、沖縄の海は水質の汚れも少ないために透明度も高いのです。

太陽の青い光線が海底まで届き、この白い砂やサンゴ礁に反射して、あのエメラルドブルーなどの鮮やかな色と海を創り出しています。

編集後記

みなさん、こんにちは。ヒロキです！
今回は、おなはま海遊祭でのバスツアーと沖縄県の金城さんの特集でした。
沖縄と福島の海の違いや豊間漁港で行われている復旧工事について学ぶことができ、とてもためになりました。

事務所のソフトボール大会でヒットを打ちました！

